

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公開番号】特開2007-47247(P2007-47247A)

【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2005-229183(P2005-229183)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/075 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/40 (2006.01)

H 0 1 J 9/02 (2006.01)

H 0 1 J 1/304 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/075 5 1 1

G 0 3 F 7/004 5 0 1

G 0 3 F 7/40 5 2 1

H 0 1 J 9/02 B

H 0 1 J 1/30 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記 A) ~ C) から選ばれる少なくとも 1 種の感光性有機成分と、ガラス粉末、セラミックス粉末およびガラス・セラミックス粉末の中から選ばれる無機粒子とカゴ状シルセスキオキサンを含有する感光性ペースト組成物。

A) エチレン性不飽和基含有化合物および光重合開始剤、

B) グリシジルエーテル化合物、脂環式エポキシ化合物、オキセタン化合物からなる群から選択された 1 種以上のカチオン重合性化合物、および光カチオン重合開始剤、

C) キノンジアジド化合物、ジアゾニウム化合物、アジド化合物から選択された 1 種以上の化合物。

【請求項 2】

感光性有機成分が、A) エチレン性不飽和基含有化合物および光ラジカル重合開始剤である請求項 1 記載の感光性ペースト組成物。

【請求項 3】

カゴ状シルセスキオキサンが、エチレン性不飽和二重結合を有する請求項 1 記載の感光性ペースト組成物。

【請求項 4】

請求項 1 記載の感光性ペースト組成物を基板上に塗布し、フォトリソグラフィーでパターン形成した後、焼成することを特徴とするフィールドエミッションディスプレイ用絶縁層の製造方法。

【請求項 5】

請求項 4 記載の製造方法により作製されたフィールドエミッションディスプレイ用絶縁層

と、ゲート電極と、電子放出素子を有するフィールドエミッションディスプレイ用背面板  
。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

すなわち本発明は、下記Ａ）～Ｃ）から選ばれる少なくとも１種の感光性有機成分と、ガラス粉末、セラミックス粉末およびガラス・セラミックス粉末の中から選ばれる無機粒子とカゴ状シルセスキオキサンを含有する感光性ペースト組成物である。

Ａ）エチレン性不飽和基含有化合物および光重合開始剤、

Ｂ）グリシジルエーテル化合物、脂環式エポキシ化合物、オキセタン化合物からなる群から選択された１種以上のカチオン重合性化合物、および光カチオン重合開始剤、

Ｃ）キノンジアジド化合物、ジアゾニウム化合物、アジド化合物から選択された１種以上の化合物。